



T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



心の花を咲かせよう
がんばろう日本!

東京六本木ロータリー・クラブ会長
2012年2月20日発行 第303号
2011-2012年度 No. 26

W E E K L Y R E P O R T



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
国際ロータリー・クラブ会長

『ポリオ撲滅広報イベント』 特 別 号

ご挨拶

東京六本木ロータリー・クラブ会長 安井 悦子



本日は、ポリオ撲滅イベント「END POLIO NOW」に、ご参加いただきありがとうございます。ロゴの投影ということで夜の開催となり、この寒さの中での開催は大変でしたが六本木ヒルズに輝いたイルミネーションはとても美しく、皆さんの感動を誘ったものと思います。

今回、国際ロータリーが掲げるポリオ撲滅運動に賛同し、東京で初めての「END POLIO NOW」のロゴ投影を行ったことは、まだ発足して7年目の当クラブにとって身の程知らずだったかもしれませんが、皆さま方の一致団結のご協力の下、記念に残るイベントとなったことを大変うれしく思います。

実際、実施に至るまでの道のりは当初考えていたよりずっと厳しいものでありましたが、関係各位のご苦勞により、このように開催できましたこと、心より感謝申し上げます。

そして、本日、ロータリー財団に皆様のお気持ちを寄付することができました。これにより多くの子供たちにポリオのワクチンの接種ができることとなります。

地球上から一日も早くポリオがなくなることを祈って、ご挨拶とさせていただきます。

本日のプログラム

- 19:00 開 会
開会挨拶 東京六本木ロータリー・クラブ会長 安井悦子
ガバナー挨拶 国際ロータリー第2750地区ガバナー 片倉章雄様
R財団ヘチャリティ基金目録贈呈
会長安井悦子よりロータリー財団委員長 鈴木義明様へ
- 19:20 共催クラブ紹介 山の手東グループ 全9クラブ
乾 杯 国際ロータリー第2750地区山の手東グループ
ガバナー補佐 服部陽子様
- お食事・ご歓談 —
- ※ホテルオークラの美味しいお料理とフルーツとハーブによる祈りの曲をお楽しみ下さい。(フルーツ奏者:野勢寛樹 ハーブ奏者:佐藤理絵子)
- 19:40 地区役員・ビジター紹介
※引き続き、お食事と六本木RCの会員を含む有志によるジャズ演奏をお楽しみ下さい。
- 20:20 テーマ曲「あすという日が」を全員で合唱
20:30 閉 会

あすという日が

作詞：山本 環子
作曲：八木澤教司

大空を 見上げて ごらん
あの 枝を 見上げて ごらん
青空に 手をのぼす 細い枝
大きな 木の実を ささえてる
いま 生きて いること
いっしょうけんめい 生きること
なんて なんて すばらしい
あすという日が あるかぎり
しあわせを 信じて
あすという日が あるかぎり
しあわせを 信じて

あの道を 見つめて ごらん
あの草を 見つめて ごらん
ふまれても なおのびる 道の草
ふまれた あとから 芽びいてる
いま 生きて いること
いっしょうけんめい 生きること
なんて なんて すばらしい
あすという日が くるかぎり
自分を 信じて
あすという日が くるかぎり
自分を 信じて



ポリオという病気を知っていますか？

ポリオ（脊髄性小児麻痺）は、身体麻痺の後遺症をもたらし、時として命さえも奪う伝染病です。5歳以下の小児の罹患率が90%以上と高く、発症した場合の治療法はほとんどありません。1988年には世界125カ国において年間35万症例が報告されていましたが、ポリオワクチンの接種による予防が有効で、2009年には約1600症例と20年間で99%が減少しました。日本では1981年以降ポリオの発生はなく、2000年に国内でのポリオ根絶を発表しました。

現在、ポリオの常在国はインド、ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの4カ国のみで、そのうちのインドでは2011年1月13日以降1年間、ポリオの新たな患者が出ていません。しかし、2011年に常在国4カ国の周辺17カ国において渡航者による飛び火が原因と考えられるポリオ症例が報告されていますので、ここでポリオ根絶に向けた取り組みを加速させなければ、子供たちの健康を護ることができません。

何故、今日「END POLIO NOW」のロゴを投影したのか？

国際ロータリーのポリオ撲滅の活動は、1979年のフィリピンの子供へのポリオの予防接種から始まりました。1985年にロータリーの最大プロジェクトとなる「ポリオ・プラス」を開設し、以来20年以上にわたり8億米ドル以上の寄付を集め、全世界で20億以上の子供たちにワクチンを接種しました。

2月23日は、国際ロータリーの創立記念日です。国際ロータリーは、その創立記念日を挟む週に世界中の有名建造物に「END POLIO NOW」（今こそポリオ撲滅の

時）のメッセージを投影し、「ポリオ撲滅とのロータリーの闘い」を分かち合い、改めてポリオ撲滅への気持ちを高めていこうとしています。

東京六本木ロータリー・クラブはこの趣旨に賛同し、本日東京で初めて、ポリオ撲滅のメッセージを投影しました。



ポリオ撲滅活動への寄付にご協力下さい

ポリオ撲滅を阻む最大の障害は、撲滅活動の資金不足とポリオ常在国政府の協力不足です。ロータリーのポリオ・プラス・プログラムへの寄付を通じて、あなたも撲滅に向けてロータリーを支援することができます。

ロータリー財団の「ポリオ・プラス」へのご寄付は、全額ポリオ撲滅の活動に使われます。是非、寄付へのご協力をお願いいたします。

※ロータリー日本財団にお問い合わせ下さい。（問合せ先:03-3903-3192）

【銀行振込によるご寄付】

公益財団法人ロータリー日本財団へご送金ください。

三井住友銀行 赤羽支店 普通預金3978101
名義:公益財団法人ロータリー日本財団

【オンラインによるご寄付】（クレジットカードでのご寄付）

ロータリー財団のセキュリティサイトを通じた オンライン寄付システムから、日本円で簡単にご寄付いただけます。

<http://www.rotary.org/ja/contribute/>

東京六本木ロータリー・クラブの奉仕活動

東京六本木ロータリー・クラブは、2004年（平成16年）11月22日に東京西ロータリー・クラブをスポンサークラブとして創立した創立7年のロータリー・クラブです。

六本木という都内でも有数の商業地域を拠点とし、外国人居住者が多いなどの地域の特徴も踏まえた「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」「新世代奉仕」のロータリーの五大奉仕活動を展開しています。

クラブのテーマは、「環境」「地域への貢献」そして「人材育成」です。地元の公立学校はもとより、国際奉仕の一環としてインターナショナルスクールの生徒も対象にして、ロータリーならではの多彩な職業を活かした授業協力やインターシップの受け入れなどを行っており、その奉仕活動は国際ロータリーから「意義ある業績賞」を受賞するなど高い評価を得ています。

今回の「END POLIO NOW」のイベントは、より社会的、人道的なプログラムへの参加の一歩として、国際ロータリーの「ポリオ撲滅への貢献」を広報し、「ポリオ・プラス」への寄付を推進するために計画し、約半年の準備期間を経て実施されました。

今回のイベントには多くの企業から温かいご支援、ご協力を頂きました。

特に以下の企業様には格別のご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

株式会社グレイス、サントリーホールディング株式会社、株式会社プランニング・インターナショナル、株式会社ホテルオークラ東京、三田飲料株式会社、学校法人メイ・ウシヤマ学園、森ビル株式会社、株式会社ヤクルト本社（50音順・敬称略）

東京六本木ロータリー・クラブ

会長 安井 悦子

幹事 片岡 雅敦

広報・週報 渡辺 美智子
委員長

広報・週報 関口 明博
副委員長

事務局 〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3 グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL:<http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>